

企画展

大津市歴史博物館・総合地球環境学研究所主催

湖都大津の 災害史

安永七年（一七七八）に比叡山東麓で発生した大洪水の記録 坂本大洪水記 大津市歴史博物館蔵

安永七^{戊戌}年七月二日大洪水記
唐中

古文書・古地図・歴史資料でたどる人々の暮らしと防災・減災



寛文二年（一六六二）の近江若狭地震で葛川の山が崩れた様子が描かれる 葛川谷絵図 江戸時代 葛川坊村自治会蔵



江戸時代の瀬田川流域の砂防工事の場所がわかる 山城国近江国土砂留場山内谷々図 江戸時代 佛教大学附属図書館蔵

2023年
3月4日(土)～4月16日(日)

会場 大津市歴史博物館

開館時間 午前9時～午後5時（入場は午後4時30分まで）

休館日 月曜日、3月22日(水)

【主催】 大津市歴史博物館・総合地球環境学研究所

【後援】 朝日新聞大津総局、radio、NHK大津放送局、共同通信社大津支局、
◆京都新聞、KBS京都、産経新聞社、時事通信社大津支局、(株)ZTV滋賀放送局、
中日新聞社、日本経済新聞大津支局、TV滋賀放送、毎日新聞大津支局、
読売新聞大津支局

【観覧料】

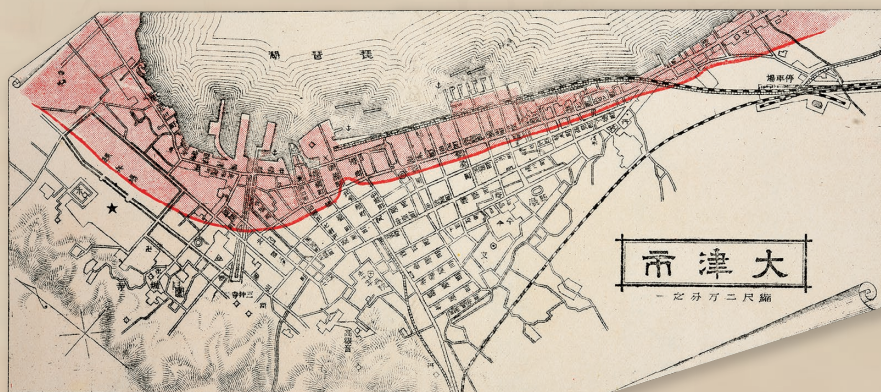
一般 / 500円(400円)
高大生 / 300円(240円)
小中生 / 200円(160円)

※（ ）内は前売、15名以上の団体、大津市内在住の65歳以上の方・障がい者の方・介護保険の要介護者と要支援者の方の割引料金（証明書等をご提示ください）。
※前売券は、大津市内観光案内所（大津駅・石山駅・堅田駅前）で2月14日～3月21日まで販売。



大津市歴史博物館

〒520-0037 大津市御陵町2-2 TEL.077-521-2100
<https://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>

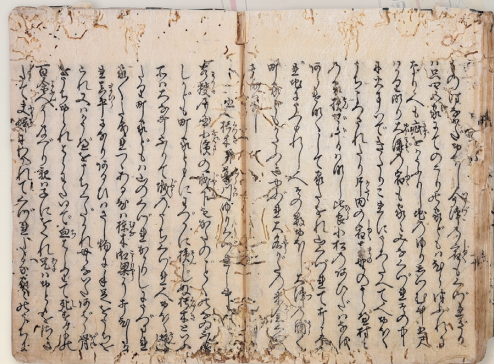


明治29年(1896)琵琶湖大洪水の被害の範囲を記した地図 滋賀県指定文化財 明治二十九年大洪水浸水区域之図 栗東歴史民俗博物館蔵

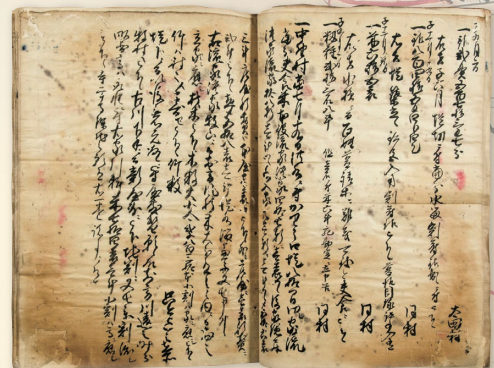


明治29年水害時の西川口町(現 大津市浜大津周辺) 大津市歴史博物館蔵

南北に長い市域をもつ大津市は、山々と琵琶湖の恵み
 を享受する一方、ときに地震・台風・豪雨による土砂災害
 など自然災害によって甚大な被害をうけ、地域復興の歴史
 を積み重ねてきました。本展では、寛文・文政期の大地震
 震、田上地域の大戸川水害や明治29年(1896)の琵琶
 湖大洪水など各所の台風や豪雨による土砂災害について、
 江戸時代から明治時代の古文書・古地図・歴史資料
 を中心に、特に防災・減災の視点から人々がどのように災
 害と向き合ってきたのかを考えます。



寛文2年(1662)の大地震の様子を克明に伝える
 『かなめいし』 江戸時代 大津市立図書館蔵



宝永5年(1708)の戸川水害で被害を受けた村々が山手に移転
 膳所藩方日記 滋賀県立図書館蔵



百間堤(大津市大物) 撮影:京津測量株式会社

湖都大津の災害史

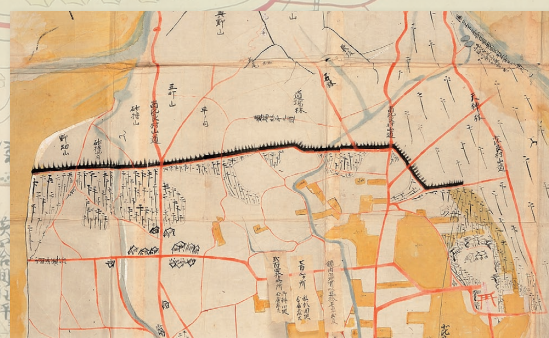
企画展

大津市歴史博物館・総合地球環境学研究所主催

本展は、総合地球環境学研究所「人口減少時代における気
 候変動適応としての生態系を活用した防災減災(Eco-DRR)
 の評価と社会実装」プロジェクトとの共催事業です。この生態
 系を活用した防災・減災(Ecosystem-based Disaster Risk
 Reduction[Eco-DRR])とは、自然災害に遭いやすい土地や
 その場所の開発を避けて被災の可能性を低減させ、かつ生
 態系の持続的な管理・保全・再生を行い、災害対応に強い地
 域をつくることを指します。本展では、同研究所と共同調査を
 進めてきた志賀地域(主に比良山麓)の防災・減災について、
 特に各地域で培われた伝統知・地域知の視点から古文書・古
 地図を読み解き紹介します。



川沿いの赤色は荒地で、土砂災害などの水害の痕跡を読み取ることができる
 北小松・南小松・北比良村絵図 寛文9年(1669) 北比良財産管理会蔵



獣害対策の石積み(シシ垣・鹿垣・猪垣)が描かれる
 南比良村絵図 江戸時代 南比良共有財産管理会蔵



百間堤の大改修予定の図面
 四ツ子川御普請御出来之絵図 嘉永5年(1852年)以降 大物共有財産管理組合蔵

企画展関連講座 14時30分～16時 ※有料。事前申込が必要。詳しくは大津市歴史博物館まで。

3月18日 土「土砂留め奉行-淀川水系の砂防を担う-」 水本 邦彦(京都府立大学・長浜バイオ大学名誉教授)

3月25日 土「寛文二年近江・若狭地震をめぐる災害対応と復興」 東 幸代(滋賀県立大学人間文化学部教授)

4月8日 土「シシ垣をめぐる防災と減災史-比良山麓地域の石文化-」 落合 知帆(京都大学地球環境学堂准教授)

企画展関連古文書入門講座 14時30分～16時 ※有料。事前申込が必要。詳しくは大津市歴史博物館まで。

3月19日 日・26日 日・4月2日 日「江戸時代の大津の災害史料を読む」 高橋 大樹(大津市歴史博物館学芸員)

企画展関連現地見学会 午後半日 ※有料。事前申込が必要。詳しくは大津市歴史博物館まで。

3月23日 木「百間堤とその山麓地域をめぐる」 高橋 大樹(大津市歴史博物館学芸員)

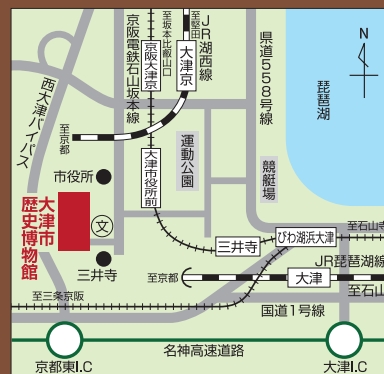


大津市歴史博物館

〒520-0037 大津市御陵町2-2

TEL.077-521-2100 <https://www.rekihaku.otsu.shiga.jp/>

無料駐車場(乗用車約60台)



京阪電鉄石坂本線「大津市役所前」駅より徒歩約5分
 JR湖西線「大津京」駅より徒歩約15分